

令和8年7月 デイサービスセンター運営推進会議資料

① デイサービス： 感染症対策、近況について報告

1.感染状況予防について

令和7年1月以降、コロナやインフルエンザなどの感染者は出ておらず、落ち着いている。

職員は基本的な感染対策のほか、体調に不安がある時は無理をして出勤せずに受診をする等、感染に対する自己管理も定着している。また、利用者に対しても引き続き送迎時の体調確認やフロア内の換気、定期的に水分補給と手指消毒を行い、いつもと様子が違う利用者は別室に移動しバイタル測定を行なう等、マニュアルに沿って対応をしている。

2.デイサービス内での研修について

□令和8年1月 褥瘡と誤嚥予防について

基本的な知識についての再確認のほか、デイサービスを利用している利用者の褥瘡予防や誤嚥予防について話し合いを行った。褥瘡予防については、入浴時の全身観察や排泄介助の際に異変に気付くことの重要性について、誤嚥予防については食事介助の時の姿勢や嚥下機能の把握について、今現在利用している利用者と照らし合わせて、意見を言い合う時間を設けた。

□令和8年2月 BCP研修

自然災害や感染症の発生時でも利用者と職員の安全を守り、デイサービスとしての機能を維持・早期復旧する体制について、画像共有プラットフォームを利用して再確認を行う。特に「命を守る初動対応」と「サービス再開・縮小の基準」に重点を置き、自然災害と感染症の二種類について周知ができるよう、研修を行った。

□令和8年3月 安全運転

デイサービスにおいて関係性の深い送迎中の事故について、過去の事例や他社の事例について資料を元に研修を行う。運転をしていて不安を感じたことや、困ったことなどについて情報共有を行いながら、解決策について話し合いを行った。

□令和8年4月 認知症の理解とケア

認知症対応型デイサービスとして、常に認知症の利用者を対応しているが、改めて認知症の方から見えている世界がどのようなものなのか、用意したテキストを見ながら、確認を行なった。また、デイサービスに通っている利用者と照らし合わせて、対応方法について話し合った。

□令和8年5月 入浴介助・介護予防、進行予防

日頃何気なく行っている行為が虐待や身体拘束にあたるのかを、日常の業務を振り

返りながらその定義について再確認を行った。

新しく入った職員三名を中心にすすめたが、他の職員にも良い復習の機会となった。

□令和8年6月 接遇・コミュニケーション

接遇マナーの基本5原則を改めて確認をすると共に、介護の現場で接遇を実践する際に意識することについて、プリントを元に話し合いを行った。

3.デイサービス：認知症対応型デイサービスとしてのレクリエーションについて

①ゆいまーる習志野

□令和8年6月

前回たくさんの発案があったレクリエーション。実際に行なって評判が良かったレクリエーションを各職員があげていき、改善点や新しい案について発表を行った。また、季節のレクリエーションについても話し合い、今年度はどのように楽しんでもらうか案を出し合った。

4.デイサービス： 営業状況 R8.1～R8.6（R8.6.30時点）

□新規契約者数：5名

□利用終了者：3名

（長期入所2名、死去1名）

□登録者数：32名

□一日の平均利用人数：10.9人（一日の利用定員数12名）

□稼働率：91.3%

5.行事・レク

1月 お汁粉作り・福笑い



2月 節分・恵方巻き作り



3月 雛祭りレク・みたらし団子作り



4月 お花見



5月 鯉のぼり作り



6月 紫陽花の壁飾り作り

